

# 暑さ指数による延期・短縮開催判断基準

令和7年7月

ドラゴンカヌー大会実行委員会

# 暑さ指数とは？

NHK

## 「暑さ指数」とは（環境省）

- ▼ 気温、湿度、地面などの熱を考慮し算出
- ▼ 28超→熱中症患者の発生率が急増
- ▼ 33以上予測の地域
  - 「熱中症警戒アラート」発表
- ▼ 35以上予測の都道府県
  - 「熱中症特別警戒アラート」発表

# 延期・短縮開催判断基準

- ▶ 大会3日前（7月31日）時点における熱中症警戒アラートの発表状況、気象情報等を総合的に判断し、開催が危険と思われる場合、短縮レースで開催または延期とする。
- ▶ 大会前日14時に熱中症特別警戒アラートが発表された場合、関係者協議のうえ延期を決定する。

	熱中症特別警戒アラート	熱中症警戒アラート
発表機関	環境省	気象庁及び環境省
対象エリア	都道府県	府県予報区
発表基準	指数35以上	暑さ指数33以上
発表条件	都道府県内のすべての観測地点で暑さ指数35以上が予測される場合	府県予報区内のいずれかの観測地点で暑さ指数33以上が予測される場合
発表のタイミング	前日の14時	前日の17時と当日の5時

# 実行委員会の対応（大会3日前～大会当日）

（別紙フロー図参照）

- ▶ 1. 環境省熱中症予防情報サイト等で熱中症指数や気象状況の確認（大会3日前）
- ▶ 熱中症警戒アラートの発表の有無と、須崎地点における暑さ指数（確認時点の指数、今後の予想指数）、気象情報（大会までの天候、気温、湿度等）を確認する。
- ▶ **この時点で当日の通常開催または短縮レース開催を判断し、ドラゴンカヌー大会公式HPで発表しチーム代表者、出店者等関係者各位に連絡する。**
- ▶ 2. 環境省熱中症予防情報サイト等で熱中症指数や気象状況の確認（大会前日14時）
- ▶ 熱中症警戒アラートの発表の有無と、須崎地点における暑さ指数（確認時点の指数、今後の予想指数）、気象情報（大会までの天候、気温、湿度等）を確認する。
- ▶ **この時点で熱中症特別警戒アラートが発表された場合、延期を含めて協議し、ドラゴンカヌー大会公式HPで発表しチーム代表者、出店者等関係者各位に連絡する。**
- ▶ 3. 計測機器での定時測定（大会当日）
- ▶ 大会当日の午前中時点で、カヌー場の栈橋上に設置した計測機器で暑さ指数を1時間ごとに測定する。
- ▶ **午前11時までに暑さ指数が35以上となった場合、短縮レースで行う。（会場アナウンスにて発表）**

# 実行委員会の対応（大会実施中）

- ▶ 4. 参加選手の熱中症状態の確認（各チーム代表者からの報告）
  - ▶ 大会当日10時から1時間ごとに、各チームの代表者はチーム参加選手が熱中症の症状が出ているか確認し、大会本部へ報告（LINE）してもらおう。症状が出ている選手については適宜、救護室で処置を受けさせる。
  - ▶ また、各チームの代表者はレース前、選手集合テントに整列した選手の状態を確認し、係員に報告する。係員はチーム代表者から報告を受けた後、選手を栈橋に誘導する。
- ▶ 5. 暑さ指数の周知と熱中症への注意喚起（場内放送）
  - ▶ 1時間ごとに計測した暑さ指数と、救護室の場所をお知らせする。同時に、熱中症への注意と、各チームの代表者に対してチームの選手の状態を気に掛けていただくように場内放送で呼びかける。
- ▶ 6. 熱中症対策について
  - ▶ ①救助艇2艇を配備
  - ▶ ②救護所看板の設置
  - ▶ ③救護所に血圧計、血中酸素濃度測定器、体温計、氷のう、経口補水液、塩飴を準備
  - ▶ ④開会式は全員テント下で実施
  - ▶ ⑤各チームテント間隔を1mあけて設置
  - ▶ ⑥選手集合テントにミストシャワーを設置
  - ▶ ⑦各係にウォータージャグに入れたお茶を準備

開催3日前

- ・熱中症警戒アラート
- ・暑さ指数の計測等

午前中開催が  
妥当と判断

- ・ホームページで短縮レース開催の発表
- ・参加者、関係者への連絡

通常開催と判断

大会前日14時

- ・熱中症特別警戒アラート

開催が危険と判断

- ・ホームページで延期の発表
- ・参加者、関係者への連絡

熱中症特別警戒アラートの発表なし

大会当日

- ・栈橋上で暑さ指数を計測（1時間ごと）

午前11時までに暑さ指数が35以上の場合

- ・会場アナウンスで短縮レースを発表

※当日は暑さ指数を1時間ごとに、会場アナウンスする。参加チーム代表者は熱中症患者が出ていないか1時間ごとにLINEで報告する。